

辞めないだけの会社では、もう足りない。

中小IT企業の「定着」と「やりがい」を両立する組織づくり

離職防止から、社員が力を発揮する組織へ。

心理学・経営学の研究と企業事例から、明日から始められる方法を解説します。

働く人の
やりがいが、
企業の力になる。

開催概要

日時
2026年11月12日(木)
16:00~17:30

会場
東京中小企業家同友会 会議室 /
Google Meet
東京都千代田区岩本町3-9-13
岩本町寿共同ビル3階

参加費
無料
懇親会費：
4,000円(税込)予定

セミナー概要

採用難が続く中、一人の離職が会社にも与える影響は、決して小さくありません。しかし、社員が「辞めないこと」と、意欲を持って「力を発揮すること」は同じではありません。

福利厚生を充実させる、1on1を増やす、エンゲージメントサーベイを実施する、社内イベントを企画する——。こうした取り組みも、社員が抱える本当の課題を見誤る、仕事や制度の改善につながれば、離職した効果は得られません。

本例会では、ウェルビーイング (well-being) とワーク・エンゲージメント (work engagement) の基礎から、離職や不満を防ぐ取り組みと、社員の強み・主体性・やりがいを引き出す取り組みの違いを解説します。

さらに、国内外の研究、IT企業における実証研究、ネスレ日本との共同研究を含む企業事例を踏まえ、組織の状態を「測る・見立てる・変える・生かす」で回すための実践的なフレームワークを紹介します。離職、技術者のキャリア、1on1の負担、SES・外注依存による業務の低下など、中小IT企業に起こりやすい課題に対して、明日から取り組める具体的な処方箋を持ち帰っていただけます。

本例会でお伝えすること

01 
社員が「辞めないこと」と「力を発揮すること」の違い

不満や負担を減らすだけでは、やりがいや主体性が生まれるとは限りません。離職防止とエンゲージメント向上を分けて考えます。

02 
ウェルビーイングとワーク・エンゲージメントは経営にどう関係するのか

注目される背景と、経営・パフォーマンス・組織成果との関係を、研究結果とその業界を含めて解説します。

03 
組織改善の取り組み教科書

サーベイや1on1で「測る」、課題を「見立てる」、仕組・上司・チーム・制度を「使える」、効果を「確かめて回す」。効果を打ちっぱなししない方法を紹介します。

04 
中小IT企業のための4つの実践メニュー

- 1 離職の見逃し防止
 - 2 エンゲージメント向上
 - 3 技術者のキャリア支援
 - 4 SES・外注依存の解消&クリ
- 自社の課題に応じて、取り組むべきメニューを選べる形で提示します。

05 
研究と企業事例から学ぶ明日からの第一歩

IT企業の組織介入、ネスレ日本との共同研究、ウェルビーイング・ワークの改善を通して、取り組みが成功する条件と失敗する理由を考えます。

こんな悩みを持つ経営者・管理職におすすめです

- ✓ 一人の離職が会社やプロジェクトに大きく影響する
- ✓ 1on1やサーベイを実施しているが、改善につがっていない
- ✓ 技術者に管理職以外のキャリアを提示できていない
- ✓ 社員が年発や自宅に分散し、自社への所属感が弱い
- ✓ 福利厚生や社内イベントを増やしても、社員の反応が良くない
- ✓ 辞めないだけでなく、自ら考え、力を発揮する社員を増やしたい

講師紹介



松井 博史 氏 大阪大学大学院経済学研究科 准教授
社会心理学者・行動科学者として、意思決定や協力行動の研究で博士号を取得。札幌国際学造協成研究所は、組織開発史中・意思決定研究に従事した。その後、アビームコンサルティング、デロイト トーマツ コンサルティングにおいて、データ・AI活用、経営効率、組織立ち上げなどを国内外で支援。現在は大阪大学で、ウェルビーイング、ワーク・エンゲージメント、ライフデザイン、人材育成、組織開発に関する研究・教育・産学連携を行っている。研究者としてのエビデンスと、コンサルタントとしての実務経験を組み合わせ、理論を現場で実践的に伝えることを重視している。

お問い合わせ
一般社団法人 東京中小企業家同友会
事務局 久木(ひさき) TEL: 03-5829-8988

 **参加申込** こちらのQRコードからお申し込みください。

